

震災ボランティアで出会った人々、繋がった人々

おおぞのたくろう
大園拓郎

はじめまして、昨年しんさいの2012年ねん10月がつからヘルパーとして働はたらいている、大園拓郎おおぞのたくろうです。代表だいひょうの東谷さんひがしたにとは、とある数奇すうきな運命うんめいにより引き寄せられ、「いこらー」で働はたらくこととなりました。以前いぜんは、大阪市おおさかし生野区いくのくで知的障害ちてきしょうがいしや者のケアホームで9年ねん程働はたらいていました。2011年ねん4月末がつまつに退職たいしよくをし、翌月よくげつの5月末がつまつから東日本大震災ひがしにほんだいしんさいの被災地ひさいちへ「ゆめ風基金かぜききん」のボランティアとして宮城県みやぎけんに赴おもむき、「被災地障害者センターひさいちしょうがいしやせんたーみやぎ」の障害者支援しょうがいしやしえんボランティアとして1年ねん3ヶ月間活動かつどうしてきました。ボランティアとして被災地ひさいちでの支援活動しえんかつどうや障害者しょうがいしやとの関わりについて、綴つづりたいと思います。

ボランティアに行く動機どうきとなったのは、1995年ねん1月がつ17日に起きた阪神淡路大震災はんしんあわじだいしんさいでした。当時とうじ、高校生こうこうせいだった私は震災しんさいで破壊はかいされ焼け尽やけ尽けされた街まちをブラウン管かんの画面がめんをただ呆然ぼうぜんと眺ながめることしか出来できませんでした。何も出来でない非力なな自分じぶんの記憶きおくが現在げんざいに至いたるまで私わたしの中にあります。時ときを経て2011年ねん3月がつ11日に東日本大震災ひがしにほんだいしんさいが勃発ぼつぱつ、津波つなみの濁流だくりゆうが街全体まちぜんたいを押し流ながす映像えいぞうを見みました。16年ねんの時間じかんが私わたしに行動力こうどうりよくをくれたのかもしれませんが。その他ほかにも書き尽かくせない要因よういんが重なり、何かなにに背中せなかを押おされるようにボランティアとして東北とうほくの地ちに赴おもむきました。

宮城県みやぎけんに震災ボランティアとして赴おもむいたのは5月がつの末まつでした。人生初じんせいはじめての東北とうほくの地ち。宮城県仙台市みやぎけんせんだいしにある「CILたすけっと（以下「たすけっと」略）」内に事務所じむしょを構かまえた「被災地障害者センターみやぎ（以下「センターみやぎ」略）」のスタッフスタッフと連絡れんらくを取り合あい、大阪おおさかから一路いちろ、宮城みやぎに向むかいました。「センターみやぎ」到着後とうちやくご、障害者支援ボランティアとしてのオリエンテーションを受け、初日しよにちを終おえました。翌日よくじつから、「センターみやぎ」に支援の依頼らいばんをされた方々かたがたへ物資ぶつしを配くばるボランティアとしての活動かつどうが始はじまりました。

私わたしが赴おもむいた5月末がつまつから7月がつまでは、支援活動しえんかつどうの内容ないようといえば、主おもに依頼らいばんされた障害者しょうがいしやの方々かたがたへ物資ぶつしを届け、生活状況せいかつじょうきょうや支援しえんされたい内容ないようを聞き取り、一旦事務所に持ち帰り、要請ようせいされた内容ないようを「センターみやぎ」のスタッフと話し合はない、今後の個別こんごの支援内容しえんないようを決定けつていすることでした。支援内容しえんないようは主おもに物資ぶつしでした。物資ぶつしといっても、食料しょくりょうや衣類いりなどもありましたが、やはり福祉用具ふくしようぐや医療関連いりょうかんれんの物資ぶつしの要請ようせいが多おほかったです。時には車椅子くるまいすの修理しゅうり（特殊とくしゆなので新たな車椅子くるまいすが提供ていきやうできないケースもありました）もありました。物資支援ぶつししえんと言いえども、多種多様たしゆたようであり、まさまさに個別こんごの支援しえんを中心ちゆうしんに物事ものごとを考えかんがないと、最適さいてきな物資ぶつしの提供ていきやうが出来でないケースが多た々たありました。

避難所ひなんじよからの支援要請しえんようせいもありましたが、在宅ざいたく、というか親類しんるいや関係者かんけいしやから提供ていきやうされたアパートや貸家かしてやから支援要請しえんようせいをされる障害者しょうがいしやの方々かたがたも多数たすうそんざい存在そんざいしました。何故なにが、障害者しょうがいしやは避難所ひなんじよでは無なく、在宅ざいたくでの避難生活ひなんせいかつを強せいかついられる結果けつことなったのか。避難所ひなんじよは主おもに地域ちいきの学校がっこうの体育館たいいくかんや公共施設こうきやうしせつが多おほかった。しかしその多くおほが障害者しょうがいしやの方かたが生活せいかつできる環境かんきやうにありませんでした。例えバリアフリーた化かされたとしても、集団しゅうだんでの避難生活ひなんせいかつでは、普段ふだんから付き合つきあいのある福祉関係者ふくしかんけいしやとの支援しえんが受けられず、または諸事情しよじじやうによ

り家族からの支援も受けられない。だからこそ親類や知り合いの伝手を辿り、何らかの支援が受けられる住環境での避難生活を選択するしかないのが現状でした。また自閉症などのこだわり行動などが避難者から理解されず、または理解されないであろうと判断し、はじめから避難所へは行かず、被災を免れた親類を頼るケースも多かったです。

指定避難所外での在宅生活ではデメリットが多い。在宅生活では行政やボランティア団体がその存在を把握するのが困難であり、適切な物資などの支援を受ける事ができません。被災直後の食料や衣類などの物資や避難生活で必要となる生活用品などを、震災の大混乱の中で、自らあるいは家族だけの自力ですべて調達しなければならぬ困難さは想像に固くありません。また高齢者や障害者を受け入れる「福祉避難所」もありますが、福祉避難所の周知が災害時要援護者に十分に周知されておらず、大災害時において、機能しなかった側面も見受けられました。

物資を配りながらのボランティア活動をしている中で、6月末頃に石巻市出身で東松島市の親類宅に身を寄せ3世帯で15人程で避難生活をされていた阿部俊介さんという身体障害者の方とで会う機会がありました。左半身麻痺であり床で布団を敷いての寝起きでは一人で立ち上がれないので、簡易ベッドとマットが欲しいとの依頼だったと記憶しております。その後も歩行時や入浴時に使用するクラッチや取り付け型の手すりなどを持って行きました。物資提供後に、彼との懇談の中で様々な将来的な思いを聞かせて頂きました。その思いを「センターみやぎ」代表で「たすけっと」代表でもある及川さんに相談したところ、阿部さんを一度、仙台にある「たすけっと」事務所に連れてきてくださいと言われたので、阿部さんに及川さんの旨を伝え、阿部さんと一緒に仙台まで車を走らせました。以下、阿部俊介さんと及川代表との運命的な出会いについては、「被災地障害者センター石巻」のスタッフとして活動している阿部さんに直接聞いてください（笑）。

7月以降からは石巻市でも仮設住宅が建設され、避難所から仮設住宅への移住が始まりました。ボランティア活動も物資提供から福祉サービスへと切り替わる転換時期だったと思います。また、阿部さんとも一緒に活動を始め、仮設住宅へ赴き、阿部さん自らがバリアフリー調査に行ったり、石巻の福祉事業所などを訪ね、ボランティアの支援が必要な障害者へのビラの配布などを行いました。また物資支援で出会った障害者の方々を集め、今後の石巻でどのような地域生活をしたいのかを考える話し合いを開催しました。しかし、石巻では事務所がなく、また障害者が集まる石巻中の会議室なども支援物資の置き場になっており、話し合いと言ってもショッピングモールのフードコートで行うしか無く、まともな話し合いが出来るはずもありません。そこで、石巻にも活動の拠点となる障害者の方々が集める事務所が必要だということになり、10月に「被災地障害者センター石巻」の事務所が開所しました。

足早にボランティア活動の変遷を綴って来ましたが、事務所を開設した10月以降の活動を簡単に説明しますと、事務所には様々な障害者の方々が集ってくるようになりました。そこで行われる話し合いから生まれたイベントや勉強会の開催、阿部さんの被災体験を語る講演活動、行政や福祉事業所や民間の店舗などに赴き「センター石巻」の存在を知って貰うためのビラの配布、被災地の障害者と現地スタッフが大阪の福祉を体験して貰うための、体験企画や実習など、さまざまな形での地域福祉活動を展開

しました。

私は2012年8月末を以て被災地での障害者支援ボランティア活動を終え、大阪に戻って来ました。しかし、東北で出会った方々が被災地で新たな福祉事業所を立ち上げ、障害者の方々の支援をしようと奮闘している姿を見るにつけ、大阪に居ながらも何かボランティアが出来るのではないかと模索していました。被災された被災者の体験は、近年必ず起こるであろう大阪での大震災への防災に必ずや参考になります。ましてや、子どもや高齢者、そして障害者は大震災時においては甚大なる被害の犠牲になる可能性が高い。だからこそ東日本大震災を体験し、その地で立ち上がろうとしている方々の思いを真摯に聞く必要があると考えます。被災者の方々を大阪の地に招き、震災時の状況や体験談、そして今後の展望をお話して頂くという企画を準備しております。【ウラ面チラシ参照】

□参考資料

☆震災ボランティアとして、または東北でお世話になった団体の紹介

「ゆめ風基金」ブログ

<http://yumekaze.in.cocan.jp/>

「CIL たすけっと」及び「被災地障害者センターみやぎ」ブログ

<http://blog.canpan.info/tasuketto/>

「被災地障害者センター石巻」ブログ・ツイッター・フェイスブック

http://blog.canpan.info/hsc_ishinomaki/

@hsc_ishinomaki

<http://p.tl/DiNG>

「被災地障害者センター南三陸（奏海の杜）」ブログ・ツイッター

http://blog.canpan.info/hsc_kenpoku/

@center_south3

「被災地障害者センター宮古」

<http://20110311iwate.blog27.fc2.com/>